

課所室業務棚卸総括表

平成16年度(前期)行政経営会議用 様式2

年度	16	部局	課所室	担当(係)	作成者(職)	(氏名)	(連絡先)
作成日	7月29日	教育委員会	自然科学学習館		-	-	-

棚卸表コード	No.
2教科01	教委-27

業務名称	自然科学学習館の運営業務	成果指標	実績(H15)	目標(H17)	人工数(人)	予算(千円)
上位目的	市民の科学に対する関心と次代を担う青少年の知的好奇心を高める。	利用者アンケートによる満足度	-	70%		
担当業務目的	目的に応じた多様な学習機会の提供と施設の環境整備を行う	利用者数	-	30,000人	3.0	19,756

活動概要(担当業務目的達成のための手段(2桁レベル))				事業費(千円)	備考欄
活動における指標	実績(H15)	目標(H17)			
01 多様な活動に対応した環境整備を図る。				16,047	(1)各業務委託(展示物保守点検・デジタル情報サポート)の実施 (2)ボランティアを含む職員研修の実施
環境整備充足率	-	80%			
展示物、備品の管理、保守点検を徹底する。 施設従事者の知識、技能、接客マナーを向上させる。 書籍、デジタル情報の充実を図る。 貸し出し用具の充実を図る。					
02 科学に親しむ機会を増やすための事業を開催する。				3,709	(1)体験工房、科学教室、サイエンスショー等自主事業の開催 (2)大学、高等専門学校、科学教育振興団体へのPR
自主事業の開催回数	-	7回			
市民ニーズに対応した自主事業を実施する。 青少年、教員と連携した自主事業を実施する。 地元企業と連携した自主事業を実施する。 学校利用に対応した学習プログラムを新規開発する。					
03 運営状況を把握し、課題の改善を図る。					(1)利用者アンケート調査の実施 (2)運営協力員の会 大学、社会教育、理科教育、ボランティア等の代表者による懇談会 (3)全国科学館連携協議会での情報収集
利用者の要望に基づく改善状況	-	80%			
運営協力員の会を設置する。 他県等の情報を入手し、運営に反映させる。 利用目的、利用者数の傾向を把握し、リピーター利用を誘発する。					
99 庶務経理					
適正処理率	-	100%			